

第2回富山県武道館整備基本計画の見直し検討委員会(R5.6.1)での主な意見

● 施設のコンセプト、機能及び規模について

- ・ 武道だけに特化するのではなく、床に金具を付けなくても良い競技であれば、利用しても良いのではないか。
- ・ 武道場を使っていない平日の午前中や大会が開催されていない時間には、ヨガやダンスなども利用できるようにしてほしい。
- ・ 競技面に穴を開けることは駄目だと思うが、可動式のポールを使えばバドミントンやテニスができる。そうすると、シッティング・バレーボールやゴールボールなど、障がい者の方も使えるような施設になる。
- ・ 養生シートを敷けば、スポーツに限らず、機器の展示会や就職説明会、企業説明会なども実施できるのではないか。
- ・ 今現在計画されている大きさのものを、広い場所で、令和9年度までに作っていただきたい。
- ・ コストをさらに下げる方法として、競技面 2,000 m²をどれだけ下げることができるのかよく検討して欲しい。6面（主道場）・6面（武道場）は必要なのか、本気でコストダウンを考えて欲しい。

● 五福公園について

- ・ 富山駅から市内電車で15分程で着く。公共交通の本数も圧倒的に違う。
- ・ 近隣に富山大学や富山商業高校があり、多様な年代の競技者が一緒にスポーツができる環境というのは、「武道競技の振興・競技力向上」を考えると大事なことだと思う。
- ・ 渋滞という理由だけで非常に難しいと思う。
- ・ 渋滞の問題を慢性的という言葉で片付けることなく、どのくらい苦情があるのか、見える化してほしい。
- ・ 陸上の大会のときは、アップ場所として利用しており、潰すと大会運営に支障が出る。
- ・ スポーツ広場だけでは少し狭い。拡張性がない。

● 県総合運動公園について

- ・ サッカーだけでなく、屋内施設もある。もう少し広い視野で考えると、富山空港の横に県総合体育センターがあり、エリア一帯をスポーツゾーンとして運用していくのが良い。
- ・ 富山インターチェンジが近いので、県外から来る人も使いやすくて良い。
- ・ 敷地が広く拡張性があるのが良い。
- ・ バス停が少し遠いので、便利になると良い。

● その他

- ・ 子供たちや利用者、若手指導者の人たちが、どのように考えているかということ聞き取った上で、次の場所選考に、案として持ってきていただきたい。
- ・ 渋滞は、住民にどれだけ迷惑がかかるかという観点が重要。イベントで渋滞するのは仕方ない。
- ・ 災害リスクの比較もあわせて実施すべき。
- ・ これからの施設は、稼働率をどれだけ上げられるかが重要。計画の段階から平日の使い方、促進の仕方など稼働を高める策を入れていくべき。